

タウンワーク
TOWNWORK
Presents



キャンパスライフ・プラスワン Campus Life+1 グランプリ 夢実現レポート VOL.1

全国の大学・短大・専門学校に通う学生の夢を応援する「Campus Life+1」。約2000名の応募の中から見事グランプリを受賞した筑波大学大学院鈴木裕行くんに、現在、夢に向かってどんなことをしているのか。夢に向かって動き始めた彼ら取材してきました。

グランプリ受賞 鈴木裕行くんの夢

「Campus Life+1」とは…
全国の大学・短大・専門学校に通う学生の皆さんから、在学中に叶えたい夢を募集。グランプリ受賞者には夢を叶える資金として上限100万円をプレゼント。



「宇宙」で多くの人を笑顔に幸せにしたい!



① 七夕のイベントについて話し合う3人。イベントでは天体望遠鏡を使って、実際の星を観て欲しいとのこと。



② 3月に開催したイベント。こちらではプラネタリウムを使用し、自分たちで解説をした。ポスターは自作。



左) 高村有加さん
筑波大学4年生
実際に病院で看護師の仕事しながら、看護部に通う。鈴木さんとは同じサークルに所属。

中央) 鈴木裕行くん
筑波大学大学院博士後期課程1年
シミュレーションを使って銀河をつくるなど、主に銀河について研究。

右) 門野綾花さん
筑波大学4年生
医学部に通いながら、鈴木さんたちの取り組みに参加。部活では陸上部に所属。

鈴木さんたちの Dream Project

『星の降る夜 七夕(仮)』

コンセプト 星のないところに星空を。星のあるところにも星空を。

内容：七夕の前後に病院で天体望遠鏡を使った観望会を開催。普段、なかなか外に出かけることができない入院患者の方やそのご家族、医師や看護師さんに、天体望遠鏡を使って実際の星を観てもらい、笑顔届けたい。

開催予定日：2014年七夕付近

イベント開催の様子を後日公開予定! お楽しみに!

病院で天体望遠鏡を使った観望会を開催したい
今回、グランプリを受賞した鈴木さん。「当日は、満足のいく発表はできませんでしたが、宇宙を教育だけでなく、癒しやコミュニケーションの手段として活用するアイデアを評価されたんだと思います」とふり返る。実は今回の夢は、キャンパスライフ・プラスワンが開催される少し前から動き出していた。その時からのメンバーが高村さんと門野さんだ。天文学を学ぶ鈴木さん、医学を学ぶ門野さん、看護を学ぶ高村さんが「普段、なかなか外に出かけることができない入院患者さんに、星を観てもらい元気になるって欲しい」と集まったのがきっかけ。「受賞の報告を受けたときは驚きました。夢に一步步近づくと嬉しいかったです」と高村さんと門野さん。そして、グランプリ受賞で獲得した夢実現応援資金で天体望遠鏡を購入予定だ。「本物の星を観て欲しいと思っていましたが、僕らの資金だけで購入することは難しく、グランプリを受賞できて本当に良かったです」と、鈴木さん。今年の七夕の時期に、病院で天体望遠鏡を使った観望会のイベントを企画中とのこと。「入院患者の方を励ますのももちろん、看病で大変なご家族の方や忙しい医師や看護師の方にも、星を観て元気になるっていただきたいと思っています」と3人は笑顔で話してくれた。

主催: **ENTAC!**
enjoy talking campus

協賛: **TOWNWORK**

お問い合わせ先: 学生コミュニティサロン「エンタク!」
TEL052-241-8100 (受付時間/平日9:00~18:00)

Campus Life+1の最新情報は

エンタク

検索

<http://entac.jp/>

RECRUIT